

北米大陸の野性味あふれる大自然を歩こう!

6名から催行

カナダ

★★  
ハイキング

# カナディアンロッキーハイキング 9日間

7月1日(火)~7月9日(水)

新千歳発着  
旅行代金 **479,000円**

東京発着  
**469,000円**

※その他の空港発着についてはお問い合わせ下さい

〈利用予定航空会社〉エアカナダ、大韓航空、日本航空など  
 〈利用予定ホテル〉ジャスパー/ウィスラーズイン レイクルイズ/ディアールロッジ パンフ/スプルーズインまたは同等クラス  
 〈食事〉朝7回・昼6回・夕3回 〈最少催行人数〉8名  
 〈1人部屋追加料金〉87,000円  
 〈添乗員〉新千歳空港から全行程同行

■査証/不要 ■パスポート残存有効期間/カナダ出国日+1日以上  
 ■燃油サーチャージ・空港諸税は別途申し受けます  
 (目安: 65,000円 ※2014年1月現在)

- ポイント**
- 1 カナディアンロッキーの2大人気エリア、ジャスパーとバンフ国立公園にそれぞれ3連泊!
  - 2 ゆったりプランで手軽な日帰りハイキングへ!
  - 3 変化に富んだドライブルート“アイスフィールドパークウェイ”を完全走破。雪上車での氷河観光も!
  - 4 カナディアンロッキーの真珠、레이크ルイズも観光
  - 5 3月31日までにお申し込みの方は **15,000円割引!**

地名	行程	食事
1 新千歳 成田 エドモントン ジャスパー	(午前)新千歳 → 成田または羽田 成田 → バンクーバー → エドモントン 着後、専用車でジャスパー国立公園の中心ジャスパーへ。ホテル到着は21時頃になります。 【ジャスパー泊】	一機 夕
2 ジャスパー キャベル メドウズ ジャスパー	専用車にてキャベルロードへ。ジャスパーのシンボル、Mt. エディスキャベル(3368m)から流れ落ちるエンジェル氷河、高山植物の多いキャベルメドウズをハイキング。 ●歩程3~4時間 【ジャスパー泊】	朝 昼 一
3 ジャスパー Mt. ロブソン ハイキング ジャスパー	専用車にて州境を越え、マウントロブソン州立公園へ。カナディアンロッキー最高峰 Mt. ロブソン(3954m)を望むトレイルをハイキング。青い湖面が美しいキニーレイクを往復します。 ●歩程5~6時間 【ジャスパー泊】	朝 昼 一
4 ジャスパー アイスフィールド パークウェイ 레이크ルイズ	専用車にてアイスフィールドパークウェイ(R93)のドライブ観光を楽しみながら레이크ルイズへ。カナディアンロッキーの名峰群や、ポウレイク、ペイトレイクなど美しい湖の景観を楽しめます。途中のコロンビア大氷原では、雪上車によるアサバスカ氷河の観光もあります(所要約6時間)。 【레이크ルイズ泊】	朝 昼 夕
5 레이크ルイズ バンフ	레이크ルイズの隣にあるアグネス湖やビーハイピークなどを巡るハイキングへ。山上から乳白色の레이크ルイズを一望します ●歩程約4時間 30分 その後、専用車にてカナディアンロッキーの中心タウン、バンフへ(所要約1時間)。 【バンフ泊】	朝 昼 一
6 バンフ ラーチバレー バンフ	専用車にてモレーンレイクへ。樹間にエメラルドグリーンなモレーン湖を見ながらジグザグ道を登り、美しいテンピークスの姿を展望するカラマツの谷“ラーチバレー”をハイキング。 ●歩行5~6時間 【バンフ泊】	朝 昼 一
7 バンフ ヒーリーメドウ バンフ	専用車にてサンシャインスキー場へ。グレイシャーリリー(黄色いカタクリ)や、アネモネの群落で知られるヒーリーメドウのハイキング。天気良ければ“カナディアンロッキーのmatterホルン” Mt. アッシニポインも遠望できます。 ●歩行6~7時間 【バンフ泊】	朝 昼 夕
8 バンフ カルガリー	専用車にてカルガリー空港へ(所要約2時間)。(午前)カルガリー → 【機中泊】	朝 機 機
9 成田 新千歳	→ 成田 成田または羽田 → 新千歳	機 一

※歩程は休憩などを除いた実質歩行時間の目安です。  
 ※2・3日目および5~7日目のハイキング中の昼食はお弁当になります。  
 ※ハイキングコースは現地の諸事情により、変更となる場合があります。

パラエティーに富んだ高山植物群も大きな魅力!



◀グレイシャーリリー(カタクリ)

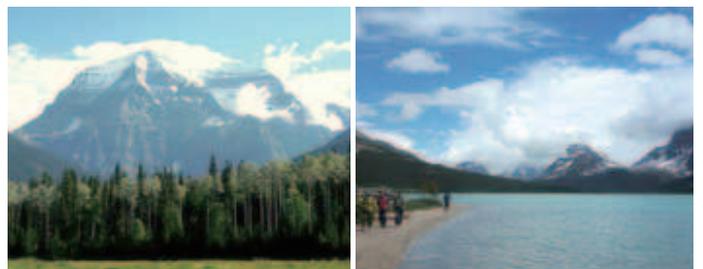
▶レディースリップパー(アツモリソウ)



▲テンピークスを望むラーチバレーのハイキング(6日目)

## カナディアンロッキーのハイキング事情

広大なカナディアンロッキーには総延長数千kmに及ぶハイキングトレールが存在します。この広さのおかげで人気コースでも混雑を感じることなく静かにハイキングを楽しむことができます。エリア内には幾つもの国立公園、州立公園があり、レンジャーやボランティアの手によって必要最低限のコース整備が行われています。ヨーロッパアルプスのようにケーブルや登山電車などの山岳交通によるアプローチはほとんど無く、トレールヘッド(登山口)までは車で向かうのが一般的です。コースの難易度はピンからキリまで。このツアーでは比較的易しいコースでありながら素晴らしい風景やたくさんの高山植物を見ることが出来るハイキングを厳選しました。特別な技術や装備は必要ありませんが、しっかりした足回りと、天候の急変に備える防寒着、雨具は必携です。ハイキングトレールでは、しばしば“You are in bear country”という標識を目にします。これはハイカーが野生動物のテリトリーに入っていることを知らせています。つまり、カナディアンロッキーでは人間はあくまでも侵入者であり、そこに暮らす野生動物が真の住人であるという考え方に立っています。それゆえ、ハイカーにはしばしばマーモットやピカなど小型動物から、エルク、ビッグホーンシープ、ブラックベア等の大型野生動物の姿を見るチャンスが与えられるのです。



▲カナディアンロッキー最高峰 Mt. ロブソン ▲開放的な広がりのポウレイク



▲雪と岩と湖のカナディアンロッキー ▲センチネルパスを望む